

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX: 0595 (21) 8839

URL: <http://www.iga.ed.jp/igaken>E-mail: iga-ken@iga.ed.jp

明けましておめでとうございます♪ ~2023年がスタート~

新年、明けましておめでとうございます。2023年がスタートしました。12月中旬は大変寒い日が続きましたが、年末年始は比較的穏やかな日となりました。新年のスタートにあたり、初日の出をご覧になられた方も多かったのではないのでしょうか。

冬季休業中、十分休養いただき、新年及び新学期に向けてのエネルギーを蓄えていただけたことだと思います。

さて、昨日から3学期が始まりました。

新型コロナウイルスの感染が拡大し、まだまだ予断を許さない状況です。2023年も新型コロナウイルスと向き合っていく日々が続くと思いますが、常に危機意識を持って感染拡大防止に取り組むとともに、「中止・縮小から創造・発展へ」を合言葉に、日々の授業や教育活動を充実させていきたいですね。そして、子どもたちの笑顔があふれる一年にしたいものです。

3学期は、本年度の仕上げとともに次年度につなげる大切な学期です。特に中学校においては進路実現に向けての重要な日々が続きます。卒業式や修了式まで2か月半しかありません。一日一日を大事にしながら、各学校・園で教育実践を積み上げられますよう心より願っています。

私たち教育研究センター職員も、気持ちを新たにして、教職員の皆さんや子どもたちのために精一杯取り組んでまいりたいと考えています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



3学期の研修講座について♪

今年度、30講座を予定していますが、26講座が終了し、残すところ4講座となりました。今学期に実施する講座についてお知らせします。

※演題・研修内容等については「研修ニュース」でご確認ください。

B-15 食物アレルギーに関する研修 1月16日(月) 15:00~16:30

講師：国立病院機構 三重病院 長尾 みづほ さん

参加者：各学校・園2名（管理職を含む）

B-1 特別支援教育連続講座④ 1月24日(火) 15:30~17:00

講師：三重大学教育学部附属教職支援センター 特任教授 飯田 幸雄 さん
参加者：特別支援教育連続講座受講者

B-16 郷土教育 1月26日(木) 15:30~17:00

講師：伊賀市教育委員会事務局文化財課 眞名井 孝政 さん
参加者：各校1名（郷土教育担当者）

B-3 人権・同和教育連続講座③ 2月10日(金) 15:00~17:00

講師：伊賀市教育委員会人権教育アドバイザー 栗原 成壽 さん
参加者：人権・同和教育連続講座受講者

*本講座に先立って、公開授業が実施されます。

1/20(金)：崇広中学校（2年2組） 1/31(火)：阿山小学校（5年2組）

☆**教研センターの会議室・廊下をワックスがけ**☆



年末に、各会議室・廊下のワックスがけ等を行いました。

1月26日(月)の共同実施業務が終了後、事務職員の皆さんが各共同実施事務室・会議室1・会議室2のワックスがけ、中会議室の清掃をしてくださいました。おかげをもちましてとてもきれいになりました。ありがとうございました。私たちセンター職員も大会議室や廊下のワックスがけを行い、3学期の研修や会議に備えました。

♪**「貸出用傘コーナー」の設置について**♪

研修会や会議の途中で悪天候になり、お帰りの際に困っている姿を何度か見かけました。そこで、センター倉庫内に置いてあった傘を活用し、「貸出用傘コーナー」を設置しました。当センター南玄関(運動場側)に10本の置き傘を用意しましたので、急な雨等の場合、ご利用ください。なお、後日で結構ですので返却いただきますようよろしくお願いいたします。



雑感：新型コロナウイルス感染により学校・園生活や日常生活に大きな変化が起きてから、早3年が経とうとしています。この間、学校・園では、感染拡大防止に全力をあげるとともに、教育活動や行事の見直し・精選を行ってきました。コロナ禍になる前に、総勤務時間の縮減に向けて学校行事や会議等の持ち方など、各職場で議論を進めていたことを思い出します。その後、実施したいことや大事にしたいことが中止になったり縮小したりと大きな変化がありました。感染者数はまだまだ減ってはいませんが、3年経ったからこそ、今一度大事にしたいことやその取組の意義を再確認していきたいものです。学校・園で再度協議を行い、変えていくこと、変えてはならないことを整理していきたいですね。「学力」「人権」「キャリア」の三本柱や、「日々の授業改善」「人権・同和教育の充実や取組の継承」「子どものくらしや保護者の願いを共有できる家庭訪問」「自己を見つめ直すであい学習」などの具体的取組は後者で、「学校行事の持ち方」や「働き方改革」などの取組は前者にあたると思います。当センター勤務後の約3年間、朝、通勤途中で出会った車に夕方(帰り)も出会う…このことを特に実感しています。社会はこれが基本なのだ。 「子どもたちのために」は当然大事なことです。 「自分自身や家族の時間」も確保しながら。そして、翌日、元気に子どもの前に立てればいいですね。